

報道資料

“奈良県産ニッポンバラタナゴ里親プロジェクト” ニッポンバラタナゴ7校目の里親校（奈良市立平城小学校）の池に放流

1 趣 旨

近畿大学農学部水圏生態学研究室（活動代表 北川忠生）では、奈良県自然環境課および奈良市教育委員会と連携し、奈良県で絶滅の危機に瀕している希少野生動物「ニッポンバラタナゴ」を保護するために、さまざまな個人や機関に「ニッポンバラタナゴ」を預け、保存・繁殖してもらい“里親プロジェクト”を実施しています。

既に6つの学校がこの活動に里親として参加していますが、新たに7番目の里親校として奈良市立平城小学校が参加することになりました。6月13日に、同小学校の観察池で「ニッポンバラタナゴ」とその繁殖に必要な二枚貝（ドブガイ）を放流します。

放流には5年生（4クラス）の児童が参加しますが、これに先立って近畿大学による出前講義（45分程度）と里親認定証の授与が行われます。

2 日 時 平成24年6月13日（水）9時40分～11時頃（雨天決行）

3 場 所 奈良市立平城小学校 敷地内の観察池
（福田芳高 校長 〒631-0811 奈良市秋篠町1394
電話 0742-45-4151）

4 内 容 ① 9時40分～10時25分 出前授業 多目的教室
② 10時40分頃～ 運動場へ移動後、里親認定証の授与
③ 10時45分頃～ 観察池へ移動してニッポンバラタナゴ等の放流

5 取材方法 事前に平城小学校にご連絡の上、当日9時15分に小学校正門にお集まりください。事前の内容に関するご質問は、下記近畿大学北川にお問い合わせください。

6 問い合わせ先 近畿大学農学部環境管理学科水圏生態学研究室
准教授 北川忠生（専門：魚類の保全遺伝学）
電話：(0742) 43-6372, E-mail: tkitagaw@nara.kindai.ac.jp

※ 安易な生物の放流は、その地域の生態系や遺伝的多様性を攪乱する危険性があります。今回の放流は、奈良県産「ニッポンバラタナゴ」の保護上の必要性、緊急性を専門的な立場から十分に考慮した上で実施するものであり、外部への流出防止措置等の放流に伴うリスクへの万全の対策が施されています。

